



備えて安心、台風対策リフォーム もうすぐ台風シーズンです！

1 雨戸・シャッターの取り付け、割れにくい窓へ変更



強風による飛来物で窓ガラスが割れ、その破片でけがをする恐れがあります。窓ガラスに段ボールや養生テープを貼る対策はあくまでも応急処置！安全性を高めるために「雨戸」「シャッター」「割れにくい窓」の設置をおすすめします。

おすすめ
リフォーム

シャッター・雨戸での対策が一番安心安全です。

工期は最短1時間
とお手軽です



シャッター、雨戸を設置しづらい窓には、「防犯合わせ複層ガラス」がおすすめ



2 屋根(家・カーポート・ベランダ)、外壁のメンテナンス



台風の影響で屋根が飛んだり、外壁が傷つくと、損傷した箇所から雨水が侵入し腐食やカビが発生し建物の寿命を縮めます。また、飛来物で近隣の建物や車などを傷つけるトラブルも。台風が来る前に点検し、補修や補強をおすすめします。

おすすめ
リフォーム

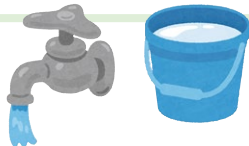
まずは住まいの点検から。補修・交換はお早めに。

テラス屋根やカーポートの耐風性能は大丈夫？



屋根の痛みを放置すると建物自体にダメージが

その他断水対策 (生活用水の確保)



断水に備えて、浴槽に水をためておくことが一般的にオススメされていますが、「貯湯タンク・雨水タンク」に溜めたお湯・水なども、トイレ処理等の非常用水として利用でき災害時に役立ちます。

貯湯タンク、雨水タンクなどを活用

エコキュート・電気温水器

ガス給湯器とは異なり、貯湯タンクユニットにお湯を貯めておくことができます。
※停電時でも出湯できます。



雨水タンク (雨水貯水槽)

通称ミニダムと呼ばれ屋根に落ちた雨水が雨樋をたどってタンクへたまる仕組みです。災害時に優秀アイテムです。



re*Life お悩み相談室



せっかく太陽光発電を設置したけど、災害時に電気が使えないと困ってしまうわ…

蓄電池をおすすめします



太陽光発電で作られた電気を蓄えておく「蓄電池」はいかがでしょうか？太陽光発電+蓄電池を組み合わせることで、災害時の停電も安心です。また、蓄電池のメリットとして…

- 割安な時間帯に電気を貯めて、割高な時間帯に使用することで、電気代を安くできます。
- 貯めて使用することで効率的に電気が使えます。

